

10代の若者とマリファナに関する実態

うれしい(そして意外な)ニュースをお届けします。
マリファナやその他薬物の使用について信頼できる情報を入手したい時、
10代の子供は両親や信頼できる大人を頼ります。

またさらに良いお知らせとして、**10代のお子さんと話し合うことには効果があるのです**。車の運転中、夕食時、近所を一緒に散歩している時など、どのような機会でも、マリファナの使用について10代のお子さんと話してみると、よく聴いてくれるものです。

お子さんから質問があることもありますし、大人としての経験上、答えを用意しておく必要があるとお考えかもしれません。

それでは、マリファナは10代の若者にとってどのような影響があるのでしょうか？

- 1 マリファナは学校の成績に悪影響を与えます。10代の成長過程でマリファナを使用すると、脳の発達に影響し、記憶力、学習力、知能に長期的な影響を与えるリスクがあります。
- 2 大人よりも10代の子供の方がマリファナ中毒になりやすいのは事実です。ワシントン州では、薬物治療プログラムに参加する10代のほとんどが、主な薬物はマリファナであると報告しています。
- 3 マリファナの使用は、協調性や反応の速さに影響を及ぼし、ワシントン州では、特に他の物質と混合した時に多くの死亡事故に繋がっていると言われています。
- 4 マリファナを使用すると、想定外の行動を起こしたり判断ミスを招いたりして、マリファナ使用者本人や他の人を危険にさらすリスクがあります。
- 5 21歳未満によるマリファナの使用は法律で禁じられています。ただしこの法律は公平に執行されないことが多いため、マリファナの使用自体を避けることが、法の執行や刑事法制度との関わりから10代の子供を守ることに繋がります。逮捕され、それに伴う汚名は、将来の就職や大学奨学金などの学資援助に影響を与えてしまいます。



マリファナ使用の事実がおわかりになりましたでしょうか。マリファナを使用することの潜在リスクについて、ぜひ10代のお子さんと話をしてください。ルールと期待を明確に。あなたがいつも側についていることをお子さんに伝えましょう。

更に詳しい情報や実態については、**StartTalkingNow.org**をご覧ください。健全な選択についてもっと知りたい、という10代のお子さんには、**YouCanWA.org**をご紹介します。

10代のお子さんが同年代の仲間と話したほうが良いと感じている場合は、トレーニングを受けた10代の若者が対応する、秘密保持を確約する無料のヘルプラインを利用することもできます。**1-866-TEENLINK (833-6546)** への、電話、テキスト、チャットによる相談を勧めてみてください。

また、10代のお子さんがマリファナやその他の薬物の使用で問題を抱えていると思われる場合は、医師、または**1-866-789-1511 Washington Recovery Help Line (ワシントン・リカバリー・ヘルプライン)**にご相談ください。